

# 安全広報誌

安衛委 No 65  
平成19年5月10日  
安全衛生推進委員会

## 【全国安全週間】

安全週間は昭和3年に初めて実施されて以来「人名尊重」という崇高な基本理念の下「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進すると共に、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に続けられてきました。社長が安全大会で話しましたように、労災保険新規受給者数が年間55万人に上っており、死亡者数についても1,500人に及ぶ尊い命が失われております。安全大会で宣言しました、労働災害の防止と健康の保持は、経営者ならびに従業員に課せられた最大の使命であり、使命を達成するために、職場の安全衛生活動を積極的に推進しなければなりません。そのために、災害ゼロを目指し、職場に密着した自主的な安全活動を図ること、職場から総ての有害要因を排除し、心とからだの健康づくりの推進を図って頂き、今年度の安全標語を現場に掲示し、各現場から災害が起きないように全員で事故防止に努めて頂きたいと思っております。



平成十九年度安全標語  
びしっと決めよう  
きれいな現場  
事故一掃！  
三和工業株式会社

平成十九年度安全標語  
慣れた作業に  
予期せぬ危険  
抜くな確認  
省くな点検  
三和工業株式会社

平成十九年度安全標語  
大切です  
いつもの確認  
大きな安心  
三和工業株式会社

## 【春の交通安全運動】

朝礼時に社長より話しがありましたように、春の全国交通安全運動が5月11日～5月20日までの10日間行われます。この運動は、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、県民自身による交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として行われています。小野警察署管内においては、4月23日現在、発生件数23件と前年に比べ10件増加しており、県内でも交通事故増加率が高い地域となっております。交通事故の増加時間帯が、午前7時～午前9時の出勤時間帯、午後3時～午後5時の退社時間帯であり、交差点やその付近における事故、春特有の温暖な気候によるぼんやり運転、前方不注意による高齢者歩行者被害の事故等となっております。小野警察署で事故防止の一貫といたしまして、「思いやり運転推進リーダー」を小野警察署管内3事業所の役職の人に委嘱し事故防止をしていくことになりました。大越地区では三和工業が選任され、過日小野警察署長及び小野地区安全運転管理者協会長が来社され、総務部長、営業部長、資材課長に委嘱状が交付されましたので、次のことを守り事故、違反をしないようお願い致します。

- 子供、高齢歩行者、高齢者運転車両を見かけたら減速して思いやり運転に努める。
- 飲酒を伴う行事、会合に車を持ち込まない。
- 夕方の早めライト点灯、遠目・近目のこまめな切り替えを行う。
- 後部座席を含めた全席シートベルト着用を行う。

平成19年 春の全国交通安全運動

スローガン 「とび出さない きみも車も じてん車も」

期間 平成19年5月11日(日)～5月20日(日)までの10日間

運動の基本 「子どもと高齢者の交通事故防止」

- 飲酒運転の根絶
- 自転車の安全利用の推進
- 歩行者被害を減らすシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

主催 福島県・福島県交通対策協議会